

センターの活動を支えていただき どうもありがとうございます

- 一九八八年度の愛隣館研修センター賛助会会員をお知らせします。個人・団体合わせ計七十四名の方、合計八十八万九千円です。
- 一 賛助会費の一部を施設備品の補充に充てさせていただきます。残りの賛助会費はセンター増築、エレベーター設置の募金にさせていただきます。
- 二 感謝の気持ちでお名前を記させていただきます。これからもよろしくお願いたします。
- 西田和可子▼酒井登茂代▼中山保子▼松島さかえ▼小田ムツ子▼栗林千代栄▼堺美津子▼藤田純子▼草刈明子▼恵ヒロ子▼今井文子▼田村早枝▼辻中昭一▼井岡勉▼住谷馨▼中村敏一▼前島宗甫▼太甲一▼福井達雨▼杉原輝明▼高井望▼志賀勉▼滝村愛子▼
- 藤井千賀子▼梅崎浩二▼竹中正夫▼高橋敬子▼川守田光子▼菅根信彦▼豊島正利▼森孝一▼兵藤みゆ子▼辻中正子▼木村真実▼勝山久仁子▼神谷幸子▼今井文子▼中村敏一▼石田正弘▼谷口あさ子▼君村千代子▼広瀬悦子▼森弘▼西山幸江▼坂田幸作▼前家直和▼石山愛子▼作野徹子▼上田圭子▼玉井勝也▼林栄子▼後宮松代▼三谷昭子▼山本忠義▼法子▼松野正信▼清美▼高橋幸子▼下岡一夫▼愛子▼金子町子▼斎恵子▼木村淳子▼難波豊子▼尾崎真理子▼島澤和子▼高橋由記
- 豊島神愛館▼大住世光教会▼神戸保育専門学校▼扇町教会▼田辺地の塩教会▼神崎川教会▼今津幼稚園▼京都教会▼同志社女子大学宗教部▼桃陵保育園 (敬称略)

88年度賛助会会員

以前のセンターニュースでおなじみでした「のぶお先生の健康教室」が、今号より再び始まります。書いて下さっているのは、京都南病院の内科の武澤信夫医師です。

皆さんの平日頃の健康の一助になれば幸いです。

ふたたび、「健康教室」をはじめることになりました。ひきつづけたときは、ぜひ毎号書かせていただきます。と返事をしながら、催促されないのを幸いに、忘れだろをいっているというか、全く忘れていたという感じで、大変申し訳ない限りです。

ところで、今回の話題ですが、医師からみた上手な医師のやり方という医師の見分け方でもよろしいでしょうか。もうすっかり春になり、心よい日々になりましたが、こ

のぶ先生の健康教室

上手に医師にかかるとは……

安静を中心とした対症療法で十分だからです。けれども、実際は、かぜの症状群といつても咽頭(のど)を中心とする上気道炎だ。副鼻腔炎のある人は、ほとんど、黄色の鼻汁などがみられますし、扁桃腺炎を合併してくる人もいます。今回の冬のかぜでも、はじめは、上気道炎と腸炎の合併が多かったのですが、中々かかるとはむしろ、咳や痰がひどくなる人が多くなり、気管支炎の合併が主症状になってきました。そして後半には、腸炎を併発したり、気管支炎を併発したり、混在してきたようです。

こうしてみると、医師にかかる時には、具体的に自分の症状がどのようなものかを医師に伝えることが必要になります。また、かぜのような普通の病気でも、個々の患者の具体的な症状を、上手に聞きだしてくれる医師がいい医師ということになるのではないのでしょうか。

(武澤信夫・医師)

JEV「春休み」イングリッシュスクール開かれる



厳しいレッスンの合間にくつろぐ参加者たち

国内外での識字活動を推進する、海外教育協力隊(JEV)の主催で、春休みイングリッシュスクールが3月27、29日までの三日間、当センターにて開催されました。

高校生を中心として、中学生から主婦まで、幅広い年齢層の12名が参加しました。アフリカのタンザニアから日本語を学びに来ている、ゲルトルト・サワーさんを講師に、生きた英語を使って、ネパールやタンザニアについてスライドを通して学んだり、ゲームをしたりして、楽しい一時を過ごしました。

又、最終日には、ゲルトルトさんにアフリカ料理を教えてもらい、参加者全員で作って食べました。

2・24「こどもまつり」開かれる

成田君マレーシア・サクラワへ

2月24日、大舞の日当日、学校や商店、行楽地等がのきなみ休みとなり、行き場失った子供達を集めて「こどもまつり」が当センターにて行われました。

映画や歌、ゲーム等で楽しい一時を過ごすことができました。(主催・伏見の教育を考える会)

おめでとう

当センターの新聞編集担当馬場園慎一氏に1月、女の赤ちゃんが誕生しました。現在、スクスクと育っており、自宅近くの保育園に毎日元気に通っています。

名前は「さらちゃん」といいます。

海外教育協力隊(JEV)による日本語識字級が、当センターにて行われております。基礎的な日本語の読み書きを勉強されたい方なら、どなたでも御参加いただけます。詳細は、当センター、或いはJEV山本(62217036)まで。

識字級のお知らせ

募金のお願い

土曜学校・月曜学校のお手伝いをして、成田信義君(同志社大学神学部3年生)が今夏、第11回アジア国際夏期学校(事務局・当センター)のプログラムでマレーシアのサラワク(日本の熱帯雨林の伐採で問題の地域)に研修に行きます。約一ヶ月半の予定を考えます。

向島ニュータウンの中にある唯一の地域センターとして、障害を持つ方々、お年寄り等、様々な方々に御利用いただいている当センターですが、建物の二階部分にあるにもかかわらず昇降手段として急な階段しかありません。

車イスでこられる方々やお年寄り、小さいお子様等には特に不便を強いっていることと思います。

特にこの向島ニュータウンには、車イス専用の住宅が少ないです。

開設以来、専従スタッフの不足を多くボランティアの方々の協力に支えられてきた当センターに、今年度から強力な助っ人が入りました。以前より、塾の講師、教会学校の教師、おそぼう会のボランティアなどでセンターと深い関わりがあった、同志社大学経済学部卒の恵(めぐみ)大一郎君(前)は八幡市のふじの木の保育園で勤務、午後、センターに戻って、ニュー

むかいまフリーマーケット

『風の市』はじまりはじまり!

わたしたちの住むむかいはじまりは、旧向島地域・向島ニュータウン(一街区から11街区)・24号線のあたりから、とろろと分けることができます。

でも、どこに住んでも、わたしたちのまち「むかいま」です。人が生きて生活しているまちです。

あら、こんなもの作ってみたのよ。あら、そんなサークルがあるの? うちこんなものもったけど何かと交換したいわ。無農薬のおやさい食べたいけど、どこに売っているの。天然酵母のパンがほしいのよ。

いろいろな思いとモノを持ちよる広場『風の市』が始まります。

売りたい人、買いたい人、のぞきたい人、うたいたい人、みんなよこいで!



毎月第3土曜 午前10時～午後3時
次回は7月15日(土)
所 愛隣館研修センター
雨天の場合は室内になります



私じゃ、とても登れまへん

開設以来、専従スタッフの不足を多くボランティアの方々の協力に支えられてきた当センターに、今年度から強力な助っ人が入りました。以前より、塾の講師、教会学校の教師、おそぼう会のボランティアなどでセンターと深い関わりがあった、同志社大学経済学部卒の恵(めぐみ)大一郎君(前)は八幡市のふじの木の保育園で勤務、午後、センターに戻って、ニュー

も多く、他地域と比べると車イスでこういった施設を利用される方が多いと思います。

そこで、全ての方々に安心して当センターを御利用頂くために、エレベーターを設置したいと考えております。現在、京都府の共同募金会に、そのための基金を頂けるように申請を出しておりますが、どうなるかわかりません。

又、より多くの方々に御利用していただくため、生活センターとして3階部分を増設したいとの計画も持っております。

新しい助っ人

（恵より一言）地域の中で様々な立場の人々が集う交流センターである当施設にて働かせてもらうことになりました。

これから、このセンターがこの向島という地域の中にあつて、よりよい働きが出来るよう、微力ながら頑張りたいと思っております。皆様どうぞ宜しくお願いします。



1スの作成、事務などの仕事を担当しています。